

土岐・運・来

ただ今
ボランティア
会員 71人

会報 「土岐・運・来」 第八号
発行 自然・馬・人の会
発行日 一九九九年八月十五日
ただいまの会員数 七十三家族

乗馬会から

五月九日の乗馬会から

参加人数

会員………三五名

当日受付………五五名

ボランティア………三九名



第八号

「初夏の気温」という天気予報は当たつた
とはいせず、日陰では少し肌寒いくらいの日
曜日。そして、にぎやかな先月とはまた違つ
た落ち着いた乗馬会となりました。

運・岐・員 (特に子どもたち) は元気。他の行事と予
定が重なつて来られなかつた人もいれば、か
けもちで来られた人もいました。

今回から囲いの横に大きく描いた絵を立て
て、常足 (なみあし) の際の目線を向ける目
標としたり、速足を始める位置を事前に知ら
せる印としたりして使いました。バトミント
ンのラケットに張り付けた絵を、馬上から大
きく手を伸ばして叩いたりもしました。これ
までも、手綱の左右の色を変えて声をかける
などの工夫を話しあつきましたが、毎回の
反省をもとに新しいアイディアを出し合つよ
うにしています。

乗馬会は月に一度ですが、参加者はその日
をどんなふうにすごすか、そう思つてゐるのかな
あと、乗馬の前後に家族のふれあいの時間を
もたれたり、行き帰りの行程も運動の時間と
して考えられて、いろいろなパターン
があることに気付かされます。今回、乗馬
前後の時間の過ごし方をえてみたらまた違
った様子が見られたという話を聞きました。
乗馬中の関わりだけでなく、そんなふうに大き
きな視野で見直してみると、また意味がある
だけだと感じました。

乗馬会は馬に乗るだけでなく、いろいろな
人ととのふれあいも魅力です。家族で来ら
れる人はもちろん、ボランティアとして参加
するボランティアで来てくださつておられる方々の

毎回の乗馬の様子を記入する個人カードも、はじめてからしばらく経ちましたが、書き始め
の頃からの変化の大きさが感じられます。表情
がより開放的になつてきた人、「もつとこ
んなふうにのつてみたい」とイメージや欲が
出きた人、自分の意志を馬に伝えられるよ
うになつてきた人……それぞれがそれぞれの
ステップで乗馬を楽しんでいます。次回の課
題も書き加えるとよいのでは、という意見も
出されました。

乗馬会は月に一度ですが、参加者はその日

をどんなふうにすごすか、そう思つてゐるのかな
あと、乗馬の前後に家族のふれあいの時間を
もたれたり、行き帰りの行程も運動の時間と
して考えられて、いろいろなパターン

があることに気付かされます。今回、乗馬
前後の時間の過ごし方をえてみたらまた違
った様子が見られたという話を聞きました。
乗馬中の関わりだけでなく、そんなふうに大き
きな視野で見直してみると、また意味がある
だけだと感じました。

(杉村)

六月十二日の乗馬会から

参加人数

会員………四八人

当日受付………六七人

ボランティア………三十人

一週間ほど前の天気予報で雨になる予定の

六月十二日は、なんとカンカン照りの一日で
した。なぜかこの乗馬会は雨で中止になるこ
とがほとんどないのは、これもひとえに、み
なさんの普段の行いが良いからでないでしょ
うか。

朝きてみると、ちょっとボランティアの方々
の人が少なかつたので、少しごめんなさい
ましたが、少しずつ増えてきたのでホッと

話を聞いてみると、東京や横浜、埼玉など遠くから来られている方々が何人かおられ、頭が下がる思いでした。

また、顔なじみのボランティアの方々も増え、この乗馬会で会えるのも楽しみの一つになっています。小さい子はこの日を待ち望んでいたかのように、朝からたくさん来ました。

こうして顔なじみの会員が来てくれるもの楽しみの一つになっています。それと

は逆に、最近乗馬にこない子や、ボランティアの方達は元気なのかと心配になります。

今回から新しい試みとして、まよべえが真ん中で子供たちに「両手を差げてヒコーキ」とかやついて、良いかもしない、と思つていたのですが本人は大変だったようです。

後ろ向きに馬に乗つてみると新しい技もありました。

今回ちよつと気になつたのが反省会でも話題になつたヘルメットの事です。それぞれの子供達の頭にちよつとう合うように上手く工夫できればなと思いました。特に速足の時にうまくヘルメットが合つてないと前にずれてしまい、子供達が嫌がつていました。

また、私の反省点として、この速足の時に、少し速く走り過ぎてしまつたのが思ひます。それぞれの子供達に合つたスピードを考えなくてはいけないとお思ひました。

もつと私自身が上達していかなければいけないなと思つた一日だったので、実は前日の六月十一日にそいつた人たちがサドル

バツクに集まり馬クラブが催されました。その日も晴天に恵まれ、馬の世話の仕方や、馬具の取り付け方、乗馬を習いました。
もつと馬に触れあいたい、馬の事を知りたいという人は気軽に参加してもらいたいと思つています。

(北村)

※ 七月十一日に予定されていた乗馬会は

雨天のため中止されました。また、その際に連絡の行き違いがあつた事をお詫び致します。

♪ボランティアさん

「こんにちは♪

6月の乗馬会にボランティアとして参加して頂いた井上正さんに、乗馬会の感想を書いて頂きました。文中にも出でますが井上さんは東京障害者乗馬協会の運営もなさっています。

「乗馬会に参加して」

いつもは別の障害者乗馬団体で活動をしているのですが、「自然・馬・人の会」の広報担当者からメールを頂いた「縁で参加させていただきました。

私が参加している乗馬会では、様々な障害を持つた方が富士山麓にある紅葉台木曽馬牧場で木曽馬に騎乗して、スポーツやリハビリを目的に乗馬を楽しんでいます。

私たちボランティアは、障害者が騎乗する時に補助をしたり、目の見えない方への声による誘導をしたり、引き馬をしたり、馬と一緒に歩いて騎乗者の補助をしたりしています。毎年十月には全国障害者交流乗馬大会が催され、日頃の練習の成果を披露して、仲間たちとの交流を深めています。

今回「自然・馬・人の会」の乗馬会に参加した感想ですが、とってもほのぼのとした雰囲気の中で障害者も健常者も区別なく乗馬を楽しんでいた感じました。乗馬会の運営では、一回の騎乗時間は短いけれど、待ち時間が少なくて騎乗回数が多くなるようにして、子供たちが楽しく乗馬ができるように工夫されているなと思いました。乗馬会後の反省会では、運営の反省だけでなく、個人記録カードを読み上げて指導内容なども検討されていましたが印象に残りました。熱心な指導を続けていくうちに、子供たちがボランティアよりも上手になつて、うれしい悲鳴をあげる日が来るかもしれませんね。

乗馬会 質問コーナー

Q 一 空いている時間はいつですか？
A 一 予約乗馬は午後が空いています。

冬場は朝早い時間が空いています。
予約が無くとも一時間の乗馬が出
来ますか？

A 一 馬一頭につき、一時間乗る事が出

来る人数に限りがありますが、余裕があれば乗つて頂く事も出来ます。ただし、会員の方が優先です。

人によって、乗つている時間が違うのですか？

A三 原則的に、皆さん一緒です。ただし乗乗者の状態に合わせてプログラムを組んでいるので、多少違います。

Q四 個人プログラムはどのように進めていますか？

A四 騎乗者がリラックスして楽しめる乗り方をまず考えています。騎乗の様子を毎回、個人記録カードに記入し、次回の参考にしています。

こんな事を知りたい、と思つたら「自然・馬・人の会」（代表 桜井）までお知らせ下さい。

馬で運動会を

やつてみませんか？
アイディア募集中！



「自然・馬・人の会」も一歳半を迎えるとしています。会員数も七十家族を超えていました。そこで、十一月二十八日（日）に馬を使つた運動会を開きたいと思ひます。ここでは、いつもはそれ違つてゐる会員同士が顔を合わせ、色々な思いを出し合えたら良いなど思ひます。

十時頃から始めて、お昼には美味しい物を食べながら、わいわいがやがやおしゃべりを楽しみ、馬のクイズなども出来たらいいなんて思つたり。

運動会と言つても、競争をするも良し。競争にならなくても良しです。とにかく参加した人が楽しめればいいのです。

まだ中身はなんにも決まっていません。皆さん、「馬を使ってこんな事が出来たら楽しいな。」と思うことをどんどんお寄せください。

一人で馬の操作が出来ない人は、もちろん引き馬で行います。

連絡先 中村 TEL/FAX 0465-36-9468

- ・借り物競走（馬で借りるとこまで行く）
- ・玉入れ（馬上から箱にめがけて紅白球を投げる）
- ・パン食い競争（馬に乗つたまま、パンを取り）
- ・手綱操作が出来るようになつた人の演技
- ・馬で昼食の荷物を運ぶ。

みんな一緒にコンサート
～アジアとおどりてあそぼう～

自然・馬・人の会の活動は毎月の乗馬会だけではありません。今まはみんなと一緒に楽しめるようなコンサートを企画しました。難

しい事なんか考えないでアジアと一緒に踊りましょう。そしておもいっきり楽しみましょう！

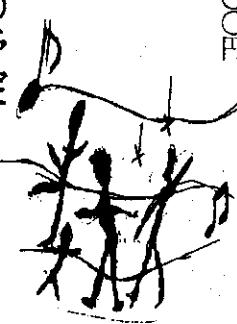
九月五日 アジアセンター大ホール

十三時開場 十三時三十分開演

大人 二十五〇円（前売）一〇〇〇円

高校生 一五〇〇円 中学生 一〇〇〇円

小學生 五〇〇円



これから予定

九月 五日 みんな一緒にコンサート

十一月 十日 自然・馬・人の会乗馬会

二六日 東京世田谷区出前乗馬

一四日 東京北区出前乗馬

二一日 東京世田谷区出前乗馬

順不同 敬称略

十一月二七日 小田原アリーナ出前乗馬

一八日 自然・馬・人の会運動会

「協力ありがとうございました」

《協賛者・協賛金のお礼》

さがみ信金・小野サツシ・マルセン株式会社・小田原市・二区自治会・老人会・おやじ劇場・城山競技場・三の丸小学校・愛児園

十一月二七日 小田原アリーナ出前乗馬

一八日 自然・馬・人の会運動会

1999年度 乗馬会のお知らせ

1. 日時 9月12日(日) 10月10日(日)

9:30~ 11:00~ 13:00~ 14:30~

申込書のプログラム参加希望時刻に○をつけてください。

申し込み後欠席の場合は、必ず下記(桜井)に連絡をください。

TEL 0465-32-1308 携帯(当日のみ) 090-153-83967

※騎乗する方は遅くとも10分前までに受付を済ませてください。尚、乗馬時刻が希望通りの場合は、連絡をしません。(荒天の場合は、朝連絡します。)

* ボランティアの方は7:30に集合してください。(7:30からはテント立て、8:15から事前講習会を始めます。荒天の場合は、朝連絡します。)

2. 場所 小田原城址公園内 歴史見聞館隣(従来と同じ)

市から「会場に駐車することは原則的に使用禁止」と言われています。

会場に駐車しないと参加できない方は、事前に桜井(上記)までご連絡ください。

3. 服装(騎乗者・ボランティアともに)・長ズボン・運動靴

(風にひらひらするような服装は馬が怖がりますのでおやめください。)

4. 持ち物

騎乗者 : 馬にあげる人参(1/2本分4cm位の長さに切ってきてください)

ボランティア : 特になし(昼食・飲み物などは、会で少し準備してあります)

1週間前までにお申し込み下さい。(人数把握の為、是非是非お願ひします)

*お願い(お手伝い募集中!)

騎乗者やご家族の方で、乗馬会当日短い時間でも手伝っていただける方がありましたら申し込み用紙にお書きください。

会員の方へ

個人記録をごらんになったことはありますか?

会員の方が騎乗された場合には、毎回個人記録をつけています。その記録とともに、その日の反省をし、次回のプログラムを決める参考にしています。また、記録はそのまま成長の記録にもなります。

是非ご覧になってください。記録カードのある場所は、乗っている馬の担当者にお聞きください。付き添いの方が見ていて気付いたことを書いてくださってもかまいません。

会員とボランティアの方へ

互いに声をかけあってみませんか?



騎乗者の情報を一番もってらっしゃるのは、ご家族の方です。その日の調子表情から分かることなど、担当者(馬を引いている人や横でサポートしている人)にたくさん話して下さい。自分の思いが上手く伝えにくい方の場合は、付添の方が騎乗者の思いや希望を代弁してくださると嬉しいです。

ボランティアの方は、分からることはご本人やご家族にどんどんお聞きください。

嬉しいお知らせ、困っていることなんでも結構です。喜びも悩みも一緒に共有し、次の乗馬会をより一層楽しいものに作っていきましょう。